

木造標準図 2025

& 木造耐震改修工事標準図

JW_CAD (Version 7.11) の

画像データ取り扱い方法

本図面データは、画像データを貼り付けた形式となっています。

JW_CAD（Ver.7.11）で新規に画像データを貼り付け、使用方法をご説明します。

それぞれのCADデータに、貼り付けてある画像ファイルは、「画像 DATA」フォルダーにあります。

名前	更新日時	種類	サイズ
 BMP	2022/09/09 15:15	ファイルフォルダー	
 JPG	2022/09/09 15:16	ファイルフォルダー	
 PDF	2022/09/09 15:14	ファイルフォルダー	
 PNG	2022/09/09 15:14	ファイルフォルダー	
 TIFF	2022/09/09 15:16	ファイルフォルダー	

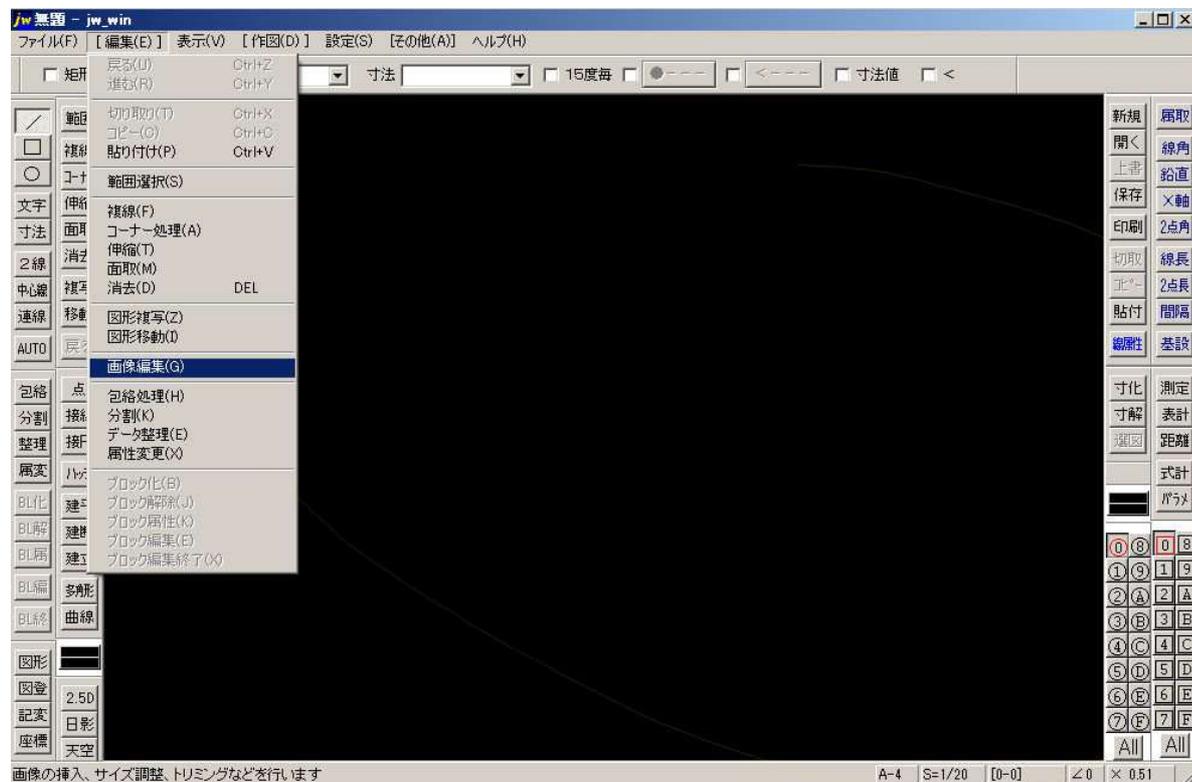
標準で JW_CAD が対応している画像データは「BMP」となります。

名前	日付時刻	種類	サイズ
 木造工事特記仕様（1）.bmp	2025/03/14 20:41	BMP ファイル	7,310 KB
 木造工事特記仕様（2）.bmp	2025/03/14 20:43	BMP ファイル	7,310 KB
 木造工事標準図（1）.bmp	2025/03/14 20:33	BMP ファイル	7,174 KB
 木造工事標準図（2）.bmp	2025/03/14 20:23	BMP ファイル	7,174 KB
 木造工事標準図（3）.bmp	2025/03/14 20:23	BMP ファイル	7,174 KB
 木造工事標準図（4）.bmp	2025/03/14 20:24	BMP ファイル	7,174 KB
 木造工事標準図（5）.bmp	2025/03/14 20:24	BMP ファイル	7,174 KB

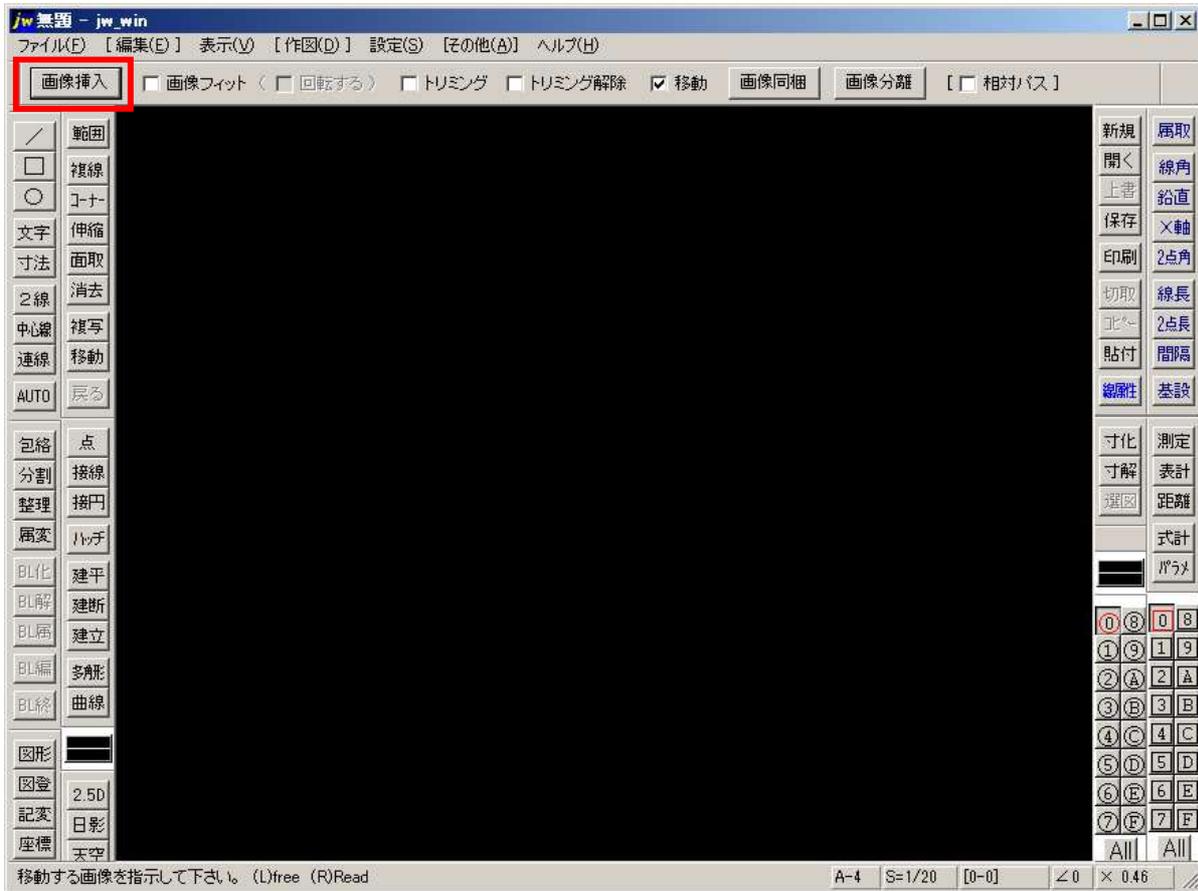
上記フォルダー内のBMPデータがそれぞれの図面データとなっています。

JW_CAD (Ver.7.11) での操作

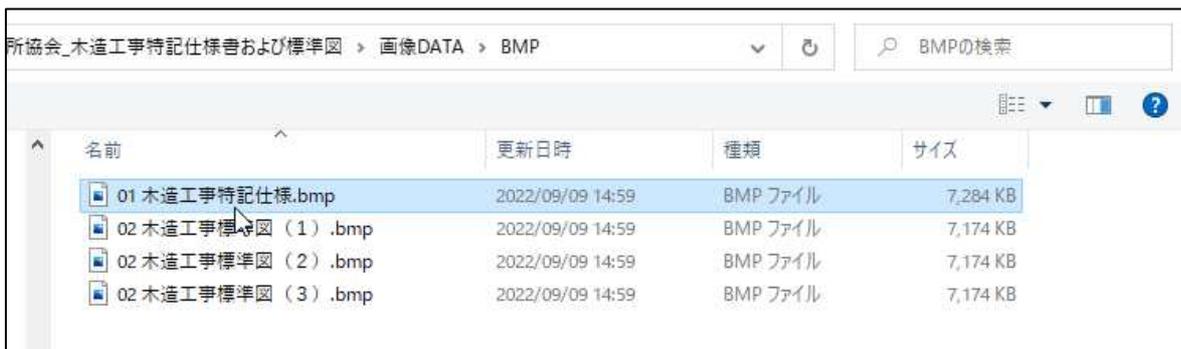
JW_CAD を立ち上げ、「メニュー」→「画像編集」を選びます。



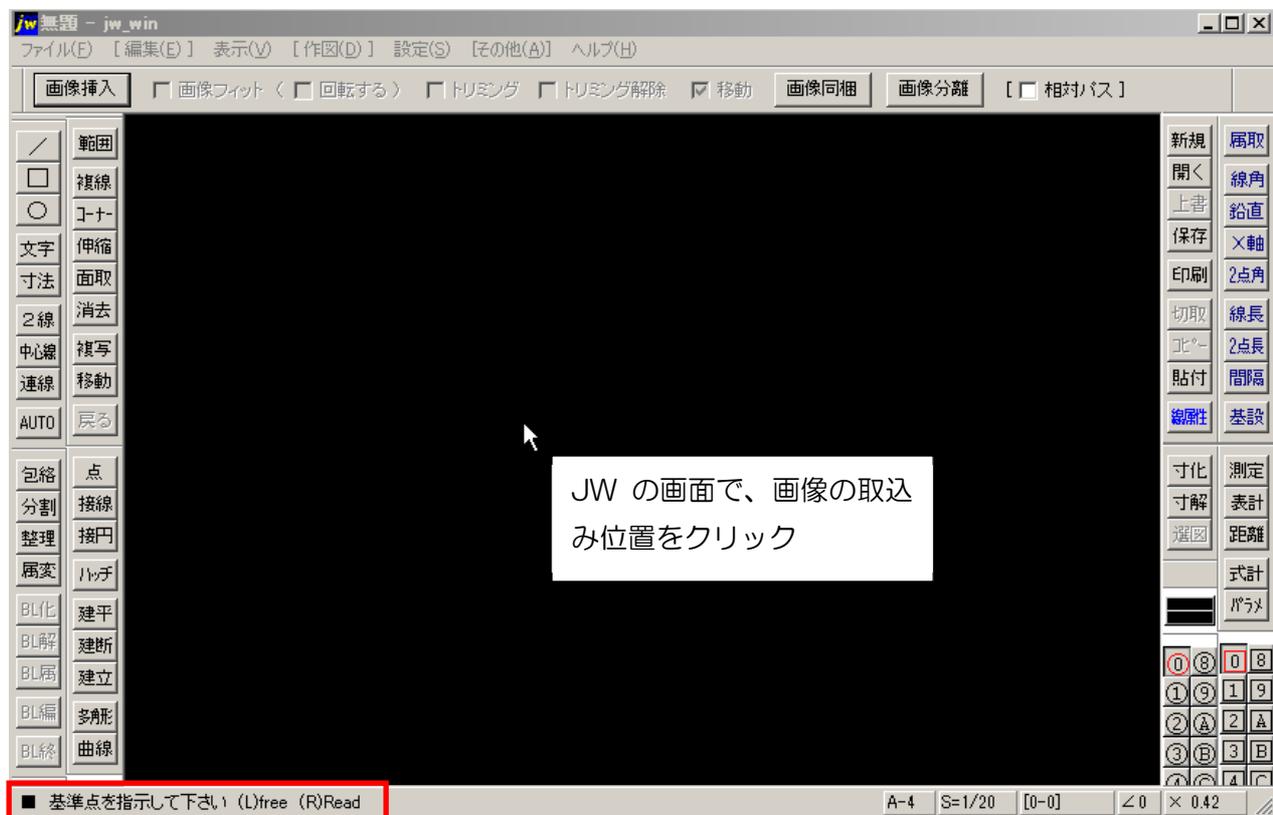
上枠のアイコンから「画像挿入」を選んでください（クリック）



下記のように使用したい、画像データを選んでください。



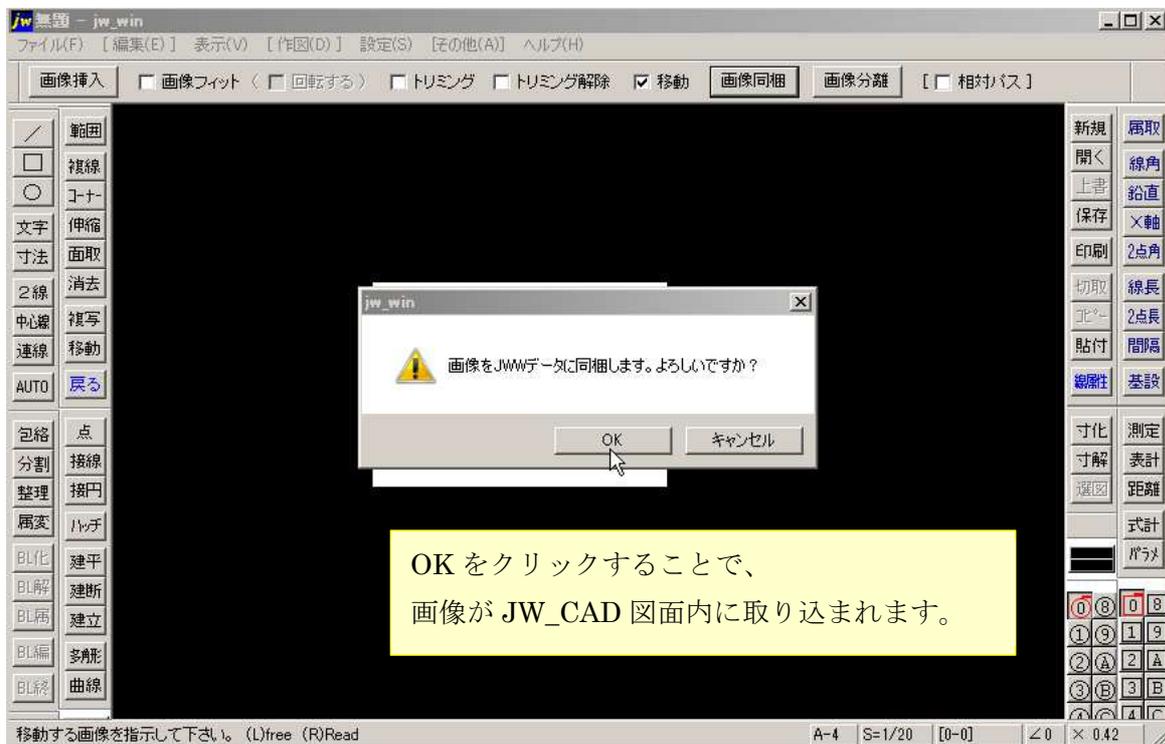
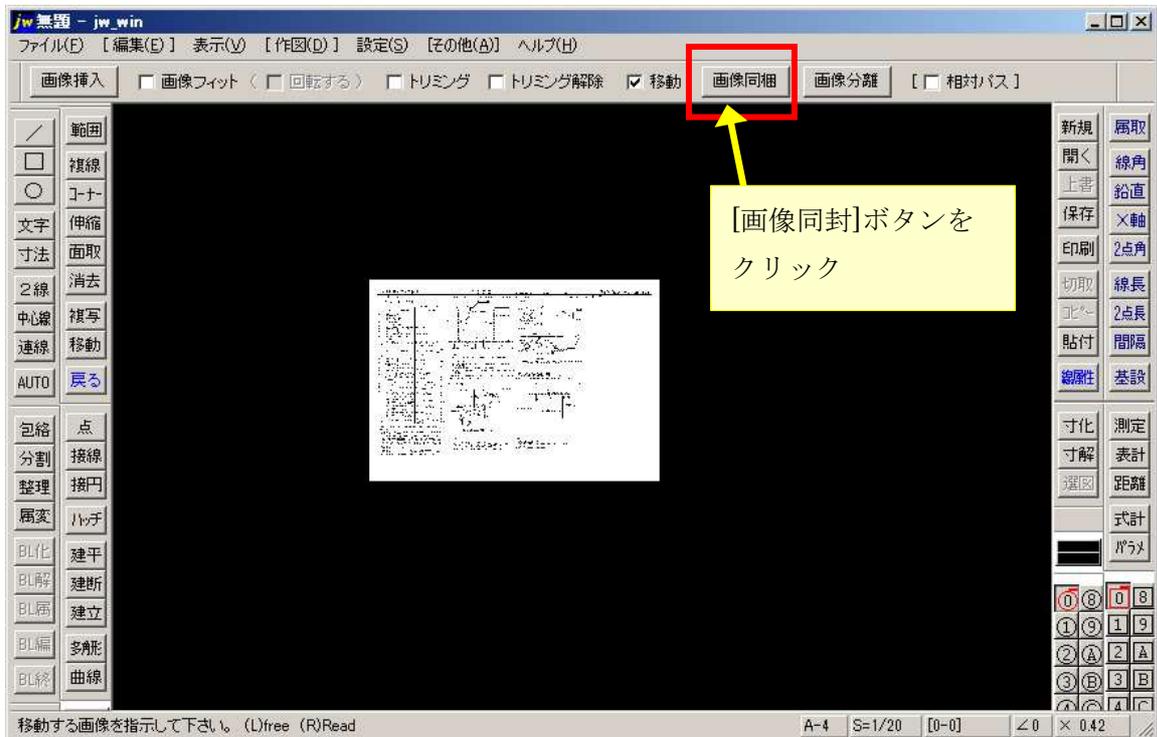
フォルダーメニューで画像ファイルを選んだだけだと、挿入できませんので、
画像を張り込む位置をJW_CAD上でクリックして下さい。



以上で画像を取り込むことができます。

なお、JW_CADでは、画像挿入しただけだと、JW_CADの図面データと画像データとは、別ファイル扱いとなってしまいます。(JWWの図面データを別フォルダーに移動すると画像データを表示できなくなる)

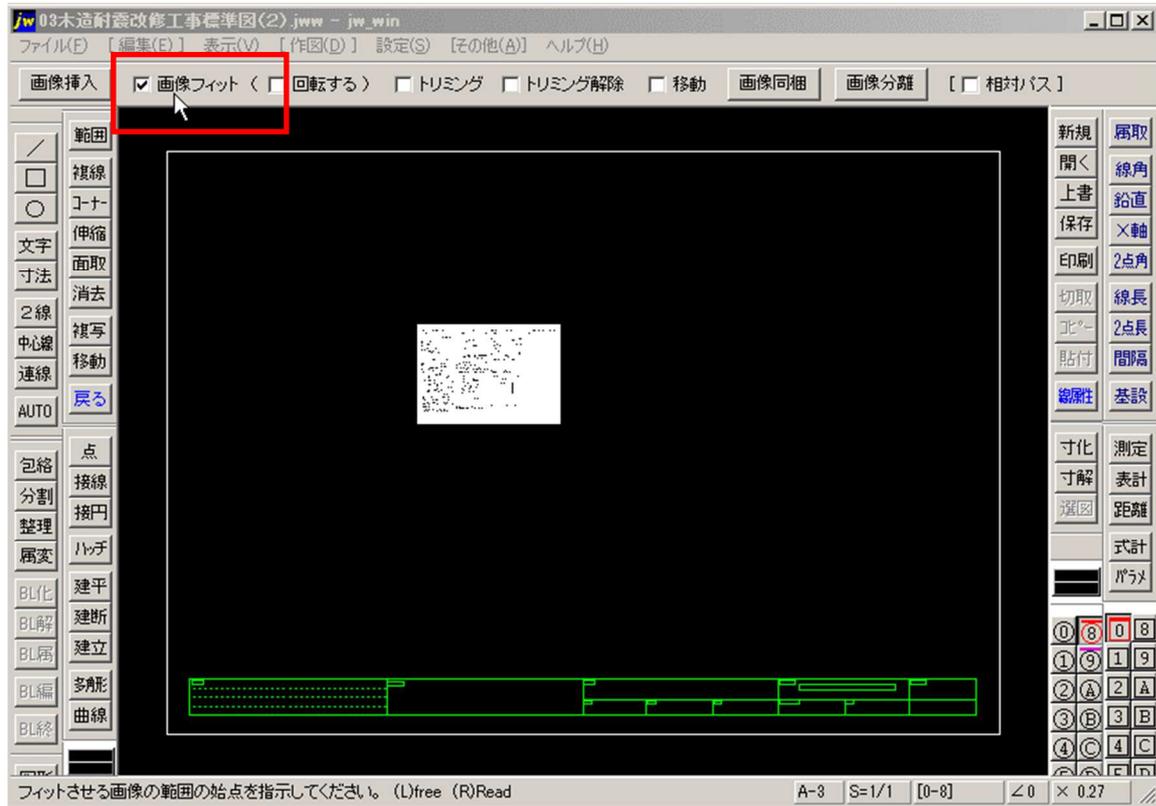
それを回避するために、図面データ内に画像ファイルを同封すると、JWWの図面ファイルをコピーや移動を行っても、画像データを表示できるようになります。



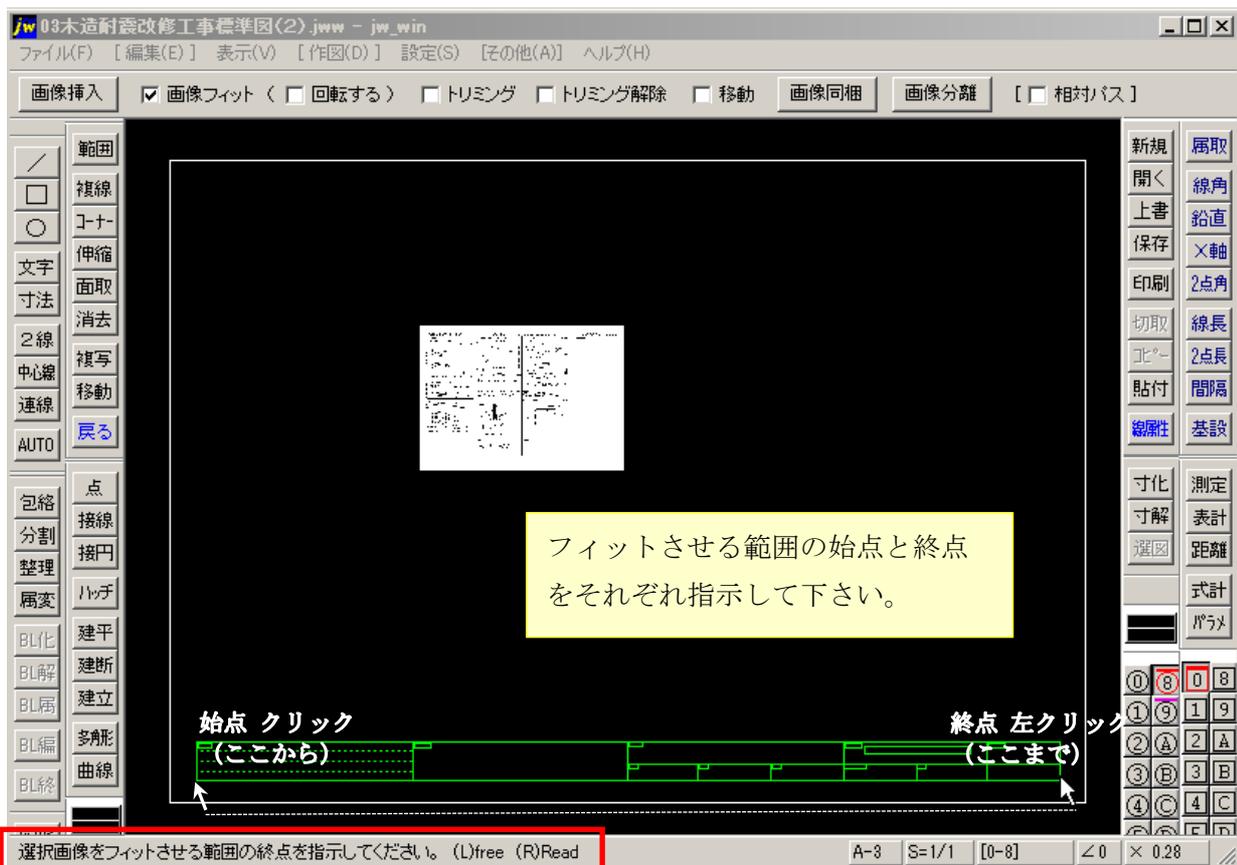
他の図面に、画像をコピーする場合にも、1 頁からの手順により画像を取り込んで使用して下さい。

画像データを図面枠に合わせる場合

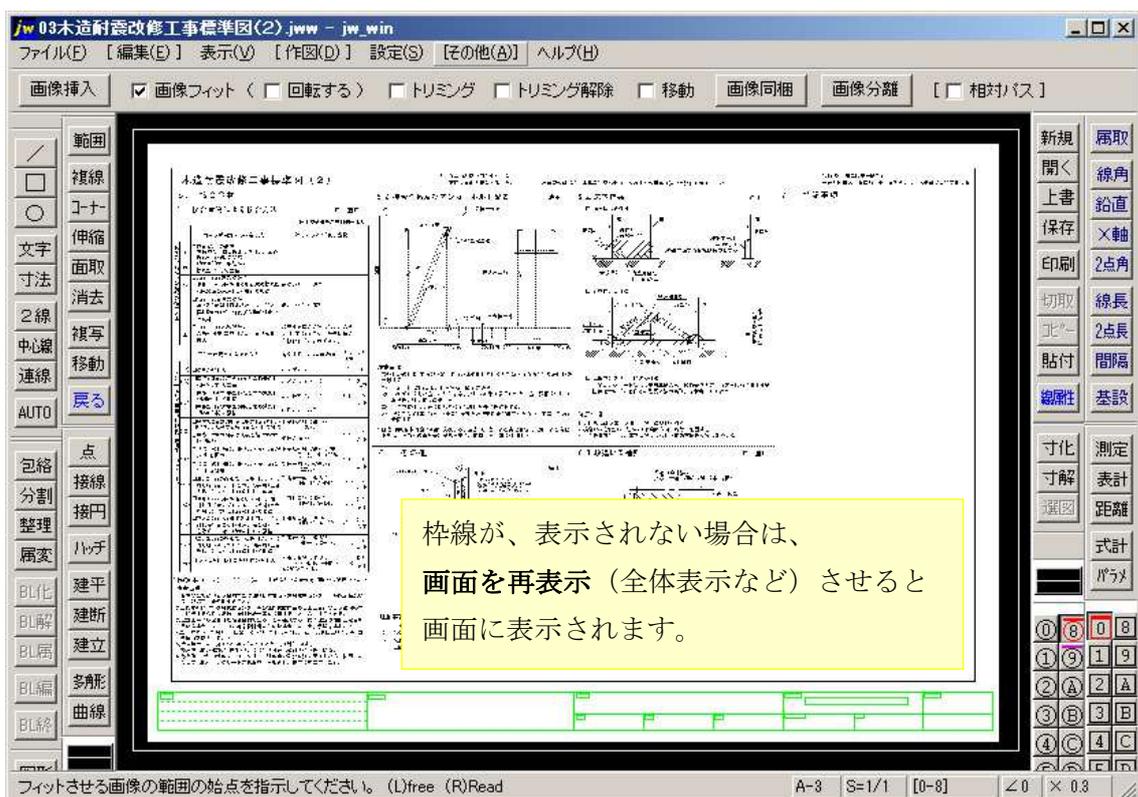
画像データを図面枠に合わせる場合は、「メニュー」→「画像編集」を選び、
下図の上枠の「画像フィット」をチェックして下さい。



次に、 画像データを合わせる範囲を選択します。



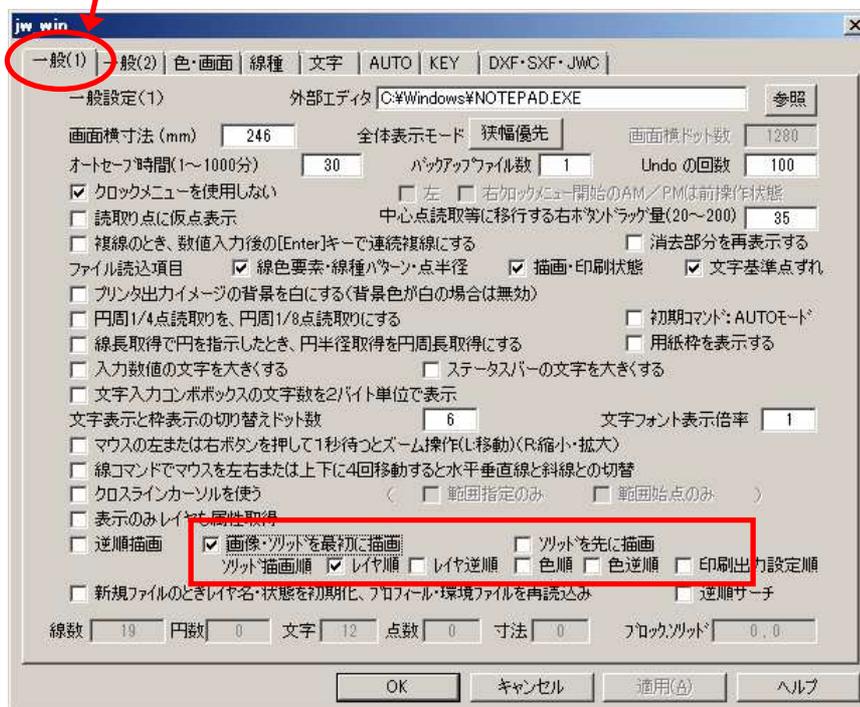
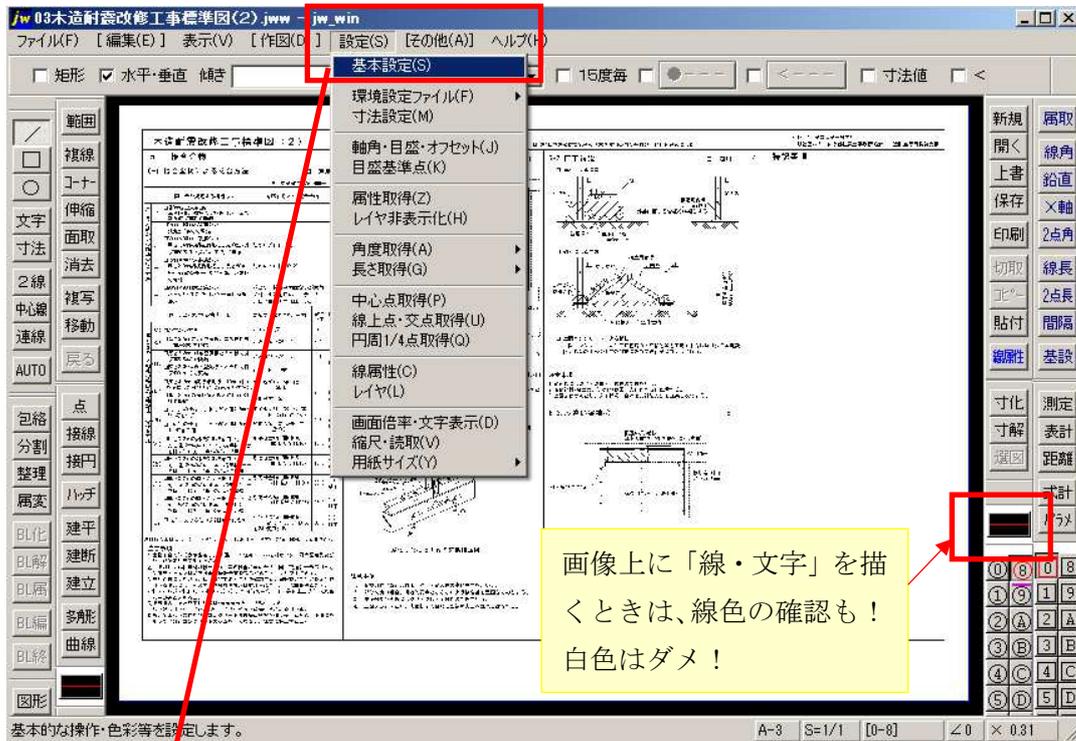
ちなみに、画像フィットを行う場合、画像のアスペクト比（縦横比）は変わらないため、高さ、もしくは横幅のみの選択をしても、正しく拡大・縮小ができます。



それでも、線・文字が描写・印刷できない場合は、

画像の裏に線・文字が隠れてしまっているためです。それを修正するためには、

メニューから[設定(S)]→「基本設定(S)」→「一般(1)」タブ内の「画像・ソリッドを最初に描画」にチェックを入れると描画・印刷すること出来るようになります。



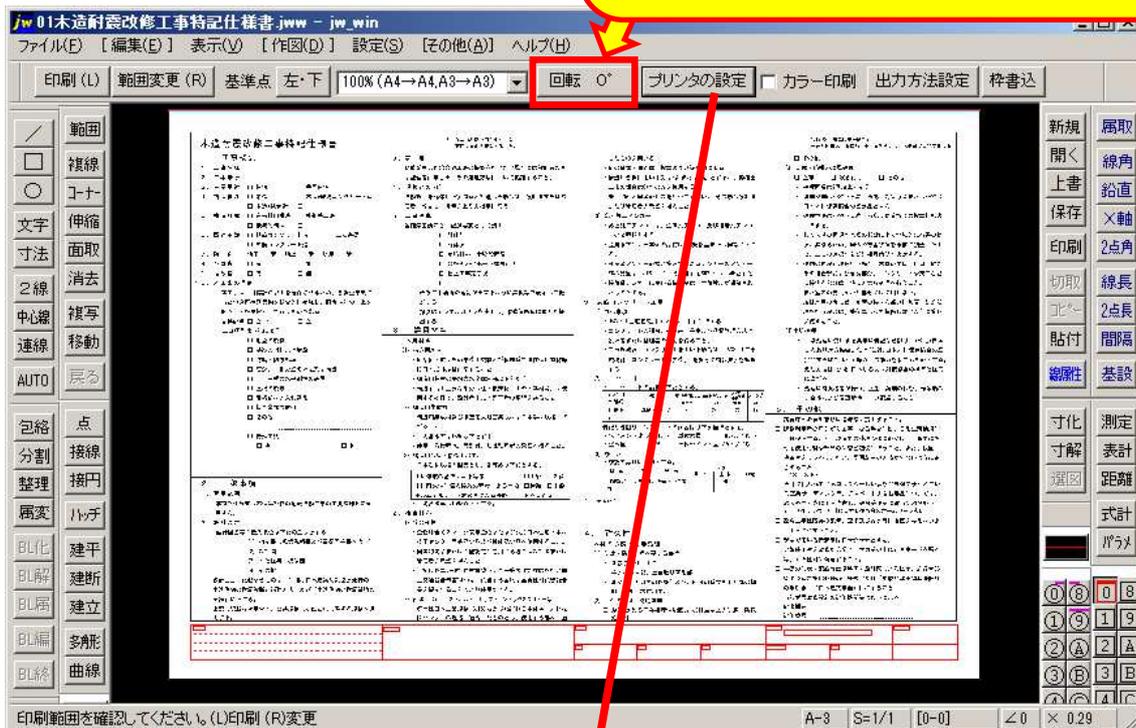
※必ず確認して下さい。(下記が原因の問い合わせが増えていきます。)

貼り付けてある画像ファイルは、白地のデータとなっています。JW_CADの「線や文字」の標準色も白色であるため、白色で線や文字を書いても同色で重なり、消えて見えます。画像上に「線・文字」を描くときは、線色・文字色が「白以外」であることを確認して下さい。

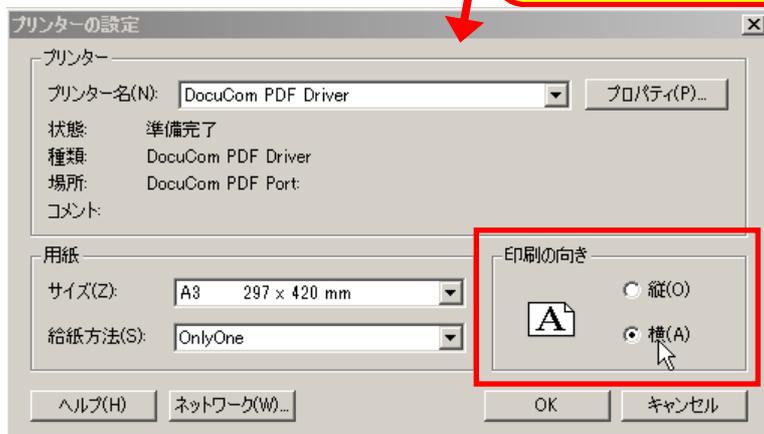
画像を含むデータを印刷する場合

画面は表示できているが、画像のみが印刷できない場合は

画像を含むデータを印刷する場合、
この印刷の向きを[回転0°]として印刷。
[回転0°]以外を選択すると、画像データを
印刷出来ないことがあります。



印刷の向きを合わせる場合は、
[プリンタの設定]で
[印刷の向き]を選択して下さい。



JW_CAD for Win Ver8.25a の場合

- 印刷時に画像データが真っ黒く塗り潰されて印刷される場合があります。
その場合は、下記の設定を変えることにより出力できることがあります。

「設定」タブの基本設定より、下記の透過属性のチェックを外してください。

一般(1) | 一般(2) | 色・画面 | 線種 | 文字 | AUTO | KEY | DXF・SXF・JWC

一般設定 (1) 外部エディタ C:\WINDOWS\notepad.exe 参照

画面横寸法 (mm) 246 全体表示モード 横幅優先 画面横ドット数 1920

オートセーブ 時間(1~1000分) 30 バックアップ ファイル数 1 Undo の回数 100

クロックメニューを使用しない 左 右クリックメニュー開始のAM/PMは前操作状態

読取り点に仮点表示 中心点読取等に移行する右ボタンドラッグ量(20~200) 35

複線のとぎ、数値入力後の[Enter]キーで連続複線にする 消去部分を再表示する

ファイル読込項目 緑色要素・線種パターン・点半径 描画・印刷状態 文字基準点ずれ

プリント出力イメージの背景を白にする (背景色が白の場合は無効)

円周1/4点読取りを、円周1/8点読取りにする 初期コマンド : AUTOモード

線長取得で円を指示したとき、円半径取得を円周長取得にする 用紙枠を表示する

入力数値の文字を大きくする ステータスバーの文字を大きくする

文字入力コンボボックスの文字数を2バイト単位で表示

文字表示と枠表示の切り替えドット数 6 文字フォント表示倍率 1

マウスの左または右ボタンを押して1秒待つとズーム操作(L:移動) (R:縮小・拡大)

線コマンドでマウスを左右または上下に4回移動すると水平垂直線と斜線との切替

クロスラインカーソルを使う (範囲指定のみ 範囲始点のみ)

表示のみレイヤも属性取得 ファイル選択にコマンドダイアログを使用する

逆順描画 画像・ソリッドを最初に描画 ソリッドを先に描画

透過属性 ソリッド 描画順 レイヤ順 レイヤ逆順 色順 色逆順 印刷出力設定順

新規ファイルのときレイヤ名・状態を初期化、プロファイル・環境ファイルを再読込み 逆順サーチ

線数 24 円数 0 文字 15 点数 0 寸法 0 プロック、ソリッド 0,0

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

チェックを外す。